平成28年度全国学力・学習状況調査の結果および考察

大阪狭山市立南第一小学校

1. 本年度の学力・学習状況調査結果の概要について

- ・国語の活用の問題に課題がみられました。また、書く能力を問う問題に課題がみられま した。
- ・算数は概ねよくできていました。特に活用の問題がよくできていました。算数では、数量や図形についての技能面が改善されていました。
- ・児童質問紙調査では、「国語・算数の勉強は好き」と感じている子どもがとても多くみられました。また、国語や算数の教科の学習に対する意識についても、とても肯定的にとらえられていました。
- ・学校に行くのを楽しいと感じている子どもが多くみられました。また、自尊感情も高く、 将来に対しても夢を持って役に立つ人間になりたいと考える子どもが多くみられました。

2. 各教科における成果と課題について

| 2. 日秋村に837 800米と休庭に 20°C | | |
|--------------------------|------------------------|----------------------|
| | 成 果 | 課題 |
| 〈主として知 | ・漢字を書くことは、昨年度よりも10ポイ | ・目的や意図に応じて、書く事柄を読みとる |
| | ント上昇しており、よく書けていました。 | 問題に課題がありました。 |
| | ・ローマ字を正しく書くことは、できていま | ・登場人物の人物像について、複数の叙述を |
| | した。 | もとにして捉える問題に課題がありました。 |
| 識 | | ・ローマ字を読む問題に課題がありました。 |
| · | | |
| | ・目的に応じて、質問したいことを整理する、 | ・目的や意図に応じて、表を基に自分の考え |
| 〈主として | 話す・聞く能力を問う問題はよくできていま | を書くことに課題がみられました。 |
| | した。 | ・活動報告文において、課題を取り上げた効 |
| 明 て 居 活用 | ・読む能力を見る問題は、どれも正答率が70% | 果を考える問題に課題がありました。 |
| 崩 | 以上で、昨年に比べて良好な結果でした。 | |
| · | | |
| | ・計算問題については、昨年よりも正答率が | ・割合の問題で、基準量と比較量の関係の理 |
| (主として知識) | 2ポイント上昇し、良好な結果でした。 | 解に課題がありました。 |
| | ・三角形の底辺と高さの関係については、よ | ・直方体における面と面の位置関係の理解に |
| | く理解できていました。 | 課題がありました。 |
| | ・示された場面を適切に読み取り、全体の人 | |
| | 数を求める式に表すことは、よくできていま | |
| | した。 | |

(主として活用)

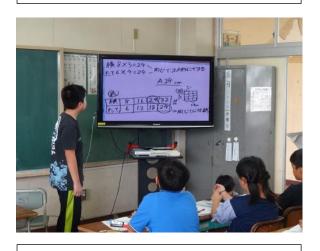
- ・単位量当たりの大きさを求めるために、他 に必要な情報を判断することは、よくできて いました。
- ・ハードルの数とインターバルの数の関係を式に表し、4 台目のハードルの位置を求める問題は、よくできていました。
- ・示された二つの表だけでは判断できないも のを読み取る問題に課題がありました。
- ・角の大きさを基に、式の意味の説明を記述 する問題に課題がありました。

3. 本校の学力向上に関する現在の取り組みについて



アクティブ・ラーニングの視点からの授業 改善

校内研修でアクティブ・ラーニングによる 子どもの主体的・対話的な学びの授業づく りに取り組み、それを普段の授業にも生か していく。



ICT の活用

子どもの学習意欲を高める ICT を効果的 に活用した授業改善に取り組んでいる。



習熟度別授業(少人数指導)

3年から6年の算数を中心に積極的に習 熟度別授業を行い、きめ細かな指導の充実 を図る。



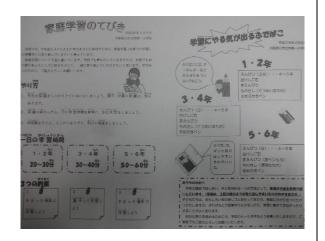
ー小タイム (自学自習力の育成)

月2回スマイルチーム(縦割り班)で10 0級ワークや自ら学ぶノートを行い、教え 合う中で、自学自習力を育てる。



読書活動の活性化

週2回の朝の読書やボランティアによる お話し会の実施など読書活動の充実を図 り、本好きの子どもを育てる。



基本的な生活習慣や学習習慣

「家庭学習の手引き」を配付し、家庭との 連携を強めるとともに、早寝・早起き等基 本的な生活習慣も身につくように発信す る。

4. 今後の取組みの方向性について

- ・アクティブ・ラーニングの視点から、授業改善の取り組みを活性化し、日々の授業の充実を図ります。
- ・習熟度別指導等の少人数指導を一層取り入れ、きめ細かな指導の充実を図ります。
- ・スマイルチームの活動を通して、一人ひとりが互いに認め合える集団をつくり、安心して学校に通い 学習に集中できるように、全教職員が家庭とも連携しながら取り組みます。
- ・家庭とも連携し、家庭学習や「100級ワーク」「自ら学ぶノート」に取り組み、自学自習力の向上に取り組みます。

5. 児童質問紙調査の結果の概要

〈取組みの成果があらわれていたり、特徴的であると思われる事項について〉

5年生までに受けた授業では、先生から示される課題や、 学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、 自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか。

5年生までに受けた授業では、自分の考えを発表する機会 が与えられていたと思いますか。

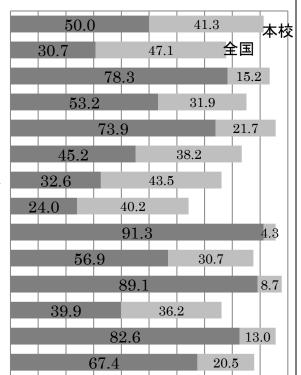
5年生までに受けた授業では、学級の友達との間で話し合 う活動をよく行っていたと思いますか。

5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか。

5年生までに受けた授業の中で目標(めあて・ねらい)が 示されていたと思いますか。

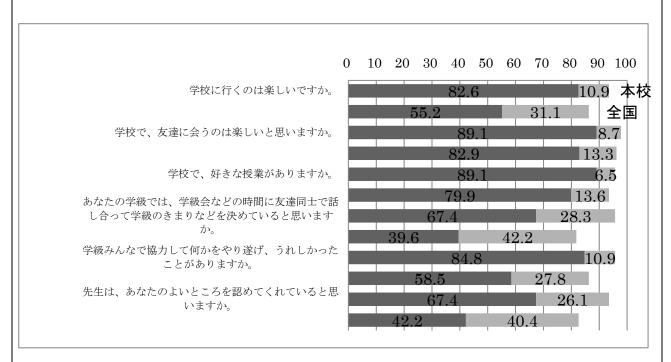
5年生までに受けた授業の最後に学習を振り返る活動をよく行っていたと思いますか。

5年生までに受けた授業で扱うノートには、学習の目標 (めあて・ねらい) とまとめを書いていたと思いますか。

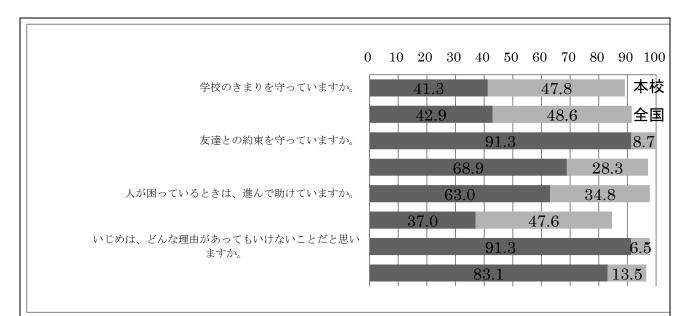


10 20 30 40 50 60 70 80 90 100

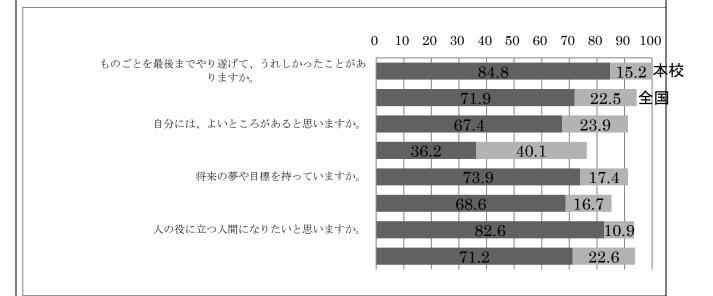
〇5年までに受けた授業に対する質問です。「主体的・協働的に学び、自分の考えを発信できる子どもの育成」~仲間との学びを通して、伝え合う力を~をテーマにアクティブ・ラーニングに取り組んできた成果が表れ、どの項目も肯定的な評価が全国を上回りほぼ90%以上になっています。



〇どの項目も全国を上回り、子どもたちが学校に行って友達に会うことや授業を受けることを楽しみ にしていることがわかります。また、学校として子どもたちの達成感や話し合い活動を大切にしている 取り組みの成果も表れています。



〇規範意識に関する質問です。ほとんどの項目で全国を上回り、規範意識はとても高いです。いじめについても、約98%の子どもたちがどんな理由があってもいけないと思っています。

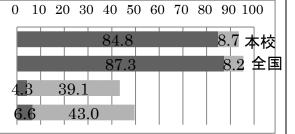


〇自分自身に関する質問です。どの項目も肯定的評価が90%以上で全国を上回っています。自尊感情も高く、将来に対しても夢を持って役に立つ人間になりたいと思っています。これからも、子ども達の良いところを見つけ、ほめて伸ばす指導に力を入れていきます。

〈今後に向けて、課題と思われる事項について〉

朝食を毎日食べていますか。

普段(月~金曜日)、何時ごろ寝ますか。 4.3 39.1



〇毎朝、朝食を食べてくる児童が全国に比べて低くなっています。また、午後10時までに寝る児童の割合が低く、家庭とも連携しながら基本的な生活習慣の見直しが必要です。 児童会や生徒指導が中心になって生活のアンケートをとるなど取り組んでいきます。

 $0 \quad 10 \quad 20 \quad 30 \quad 40 \quad 50 \quad 60 \quad 70 \quad 80 \quad 90 \quad 100$

土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

家で、計画を立てて勉強していますか。

学校の授業以外に、普段(月~金曜日)、1日当たりど れくらいの時間、読書をしますか。



〇休みの日に1日1時間以上勉強する児童の割合が全国に比べて低く、過半数以上の児童がほとんど学習していませんでした。また、計画を立てて勉強する児童の割合も低い状況でした。今後も自学自習力の向上をめざして、100級ワークや自ら学ぶノート等に取り組むとともに、家庭学習についても学年ごとに系統立てて取り組んでいきます。

6. 保護者・児童のみなさんへ

国語では、漢字やローマ字がしっかりと書けていました。しかし、表をもとにして自分の考えを書くなど、応用力をみる活用の問題に少し課題がありました。

算数では、計算問題が昨年に引き続きよくできていました。また、図形の底辺と高さの関係も 正答率が高くよくできていました。

質問紙調査では、国語、算数とも学習に対して前向きに取り組めています。南第一小学校の皆さんは、自尊感情も高く、将来に対しても夢を持って役に立つ人間になりたいと思っています。 また、どんな理由があってもいじめはいけないことだと、ほとんどの人たちが思っています。

ただ、基本的な生活習慣(早寝、朝食)に課題がみられました。これからも、「早寝、早起き、朝ごはん」を守れるように、気をつけましょう。また、学習の予習や復習などの家庭学習にもしっかりと取り組みましょう。